

「教育県大分」創造に向けた地域別意見交換会 in 日出 開催概要

[開催日：令和4年12月13日(火)]

[学校訪問] 日出町立豊岡小学校

[訪問者] 大分県教育委員会（岡本教育長、教育委員、教育次長 他）
日出町教育委員会（恒川教育長、学校教育課長 他）

1. 学校の概要説明

日出町立豊岡小学校では、「やさしさいっぱい あせいっぱい まなびいっぱい」を学校の教育目標とし、教職員だけでなく家庭・地域と協働しながら児童の育成に取り組んでいる。

学校の特色として、①SA(スクールアシスタント)制度による地域人材の活用、②教科担任制の推進等がある。

「①SA制度による地域人材の活用」は、令和4年11月現在101名の家庭・地域の方々が登録しており、登下校の指導や校外活動・水泳授業等での見守り、ミシン調整・作業補助や計算カード聞き取り等の授業サポート、田植えの体験学習講師・補助等の支援をいただいている。

「②教科担任制の推進」については、5・6年生を中心に担任間の交換授業(1組の先生が1・2組の社会を受け持つ等)や1人の先生による1教科専科指導等、児童の学力の向上に向けて工夫した取組を進めている。



概要説明をする豊岡小 堀校長

2. 授業参観

学校では、考えたり書いたりする場や交流して新たな気付きや考えの変化を実感させる場の設定等、言語活動を重視した取組を推進している。当日の授業では、SAの方々が授業者と連携して児童の学びを深めるための支援を行う等、児童が教職員・SAとの親和的な関係性のもと、学びを深めている様子が見られた。



算数 SA活動(学習支援:九九の聞き取り)の様子



国語 タブレットを活用したペア協議の様子



総合的な学習の時間 日出町民俗芸能「辻間楽」体験の様子

3. 授業参観後の意見交換会（主な意見）

- ▶どの授業もすばらしく、先生方の指導がしっかりしている。タブレットの活用、書くこと、グループ学習、前を向かせた学習のバランスがよい。1年生からの指導の積み重ねではないかと思う。SAの活動についても、教室内外の連携がとれており、児童も一生懸命取り組んでいる。良いものを見せていただいた。
- ▶働いている保護者が多いため、アシスタントとして参加するのは難しいと思うが、ここまで多くの方が登録するというのは、学校に来たいと思わせる仕組みがあるからだと思う。学校も環境が良く、先生とのコミュニケーションがうまくいっているからこそ賜物だと思う。
- ▶地元の人がいなくなると、保存すべき伝統文化がなくなってしまうが、SAの取組を通じて伝統芸能や地域行事が繋がっていている。地域振興への貢献も含め、今後もこの取組を続けていっていただきたい。

[意見交換会テーマ]「芯の通った学校組織」を基盤とした教育水準の向上
～人的資源充実による学校の教育力の向上について～

[出席者] 学校訪問参加者、日出町教育委員、
日出町立小・中学校長（小学校5校、中学校2校）学校支援センター所長

1. 日出町の取組説明

① 外部人材の活用について

本町の学校の多くは学校運営協議会の委員でもあるコーディネーターが連絡・調整しながら、外部人材への依頼をおこなっている。活動内容は、学習支援（ミシン調整・作業補助、算数丸付け補助等）・環境整備（図書返却・貸出、通学路草刈り等）・安全支援（通学路点検、登下校見守り等）等各学校の取組状況により多岐にわたる。たくさんの目で子どもたちを見守りいただいているとともに、子どもたちの学習意欲向上にも繋がっている。

② 教員の人材育成について

授業力向上アドバイザーや拠点校指導教員等が学校と連携しながら、若手教員の人材育成を進めている。町教委としても、若手教員に向けて、授業改善・生徒指導・人権教育等に係る研修会や町教育委員による授業参観等を実施している。学校でも、大分県公立学校教員育成指標をもとに各自で進捗管理を行ったり、若手と経験年数の豊富な教員との組合せによるバディシステム（ペア）を編制し協働的に取組を進めたりしており、町全体の教員の質の向上に向けて実践を積み重ねているところである。

2. 意見交換(主な意見)

- ▶SAの取組については、コーディネーターの存在が大きい。教員がそれを兼ねると、たとえ効果的な取組であっても、連絡調整等が学校側の負担となり進みにくなる。学校と外部人材をつなぐ学校運営協議会委員でもあるコーディネーターの役割が肝であり、今後も継続した取組を進めてほしい。
- ▶SAの活動を見せていただき、とても楽しそうだと感じた。児童が一生懸命だとSAもやりがいを感じ、その成果が出る、という良い循環になっている。この状況になるのは時間がかかったと思うが、この取組は日出町の財産だと思う。教員と外部の方との壁をいかに取り除くかに、この取組はかかっていると感じた。これからも大切に育ててほしい。
- ▶若手教員が問題を1人で抱え込まないようにするためにも、バディシステムは非常に役立つと思うので、これからも活用していただきたい。編制する際は、全部相性が良い組み合わせとすることは難しいので、場合によっては3人とする等、今後も効果的な取組を推進いただきたい。
- ▶県内には、保護者や児童生徒の対応に苦勞し、思い描いていた学級経営等ができず、メンタルダウンしている先生もいる。やはり愚痴をこぼす場所が大事であり、そういった場面を生み出す環境作りを大切にしてほしい。

3. 意見交換を終えて

・ 岡本 県教育長より

日出町が若手教員を大事に育ててくださっているのが、本日は聞いて伝わり大きなお土産となった。SAの取組もしっかり成果を出していただいている。見事な成功例なので、このような取組を行える地域ではどんどん真似していききたい。



岡本 天津男 県教育長

・ 恒川 町教育長より

どの学校でも管理職を含めて職員室が和気あいあいとしており、相談しやすい環境になっていると思う。かしまった人材育成を行う場も必要だが、雑談の中でも十分育成を行うことができ、その方が教員の負担感も少ない。日出町としても大分県を担う人材育成を積極的に進めていきたい。



恒川 英志 町教育長